

とぎつちよう うちどく すいしん  
時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

ていがくねん む ふゆごう  
低学年向け 2023年 冬号



「こたつ」  
麻生 知子/作（福音館書店）

さむい冬は、ぽかぽかなこたつに入るのが一番！  
こたつの上では、ごはんを食べたり、しゅくだいを  
したり、トランプだってできちゃいます。

12月31日の大みそかから、1月1日の元旦まで  
の家族のだんらんを、上からながめてみる絵本。み  
んなの家では、どんなおせちを食べるのかな？

## うちどく 家読とは

かぞく みんなで好きな本を読んで、読んだ本に  
ついて話す。これが「うちどく（家読）」です。  
むずかしいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょ  
う。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんや  
おかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間  
を過ごしましょう。



「うろおぼえ一家のきゅうじつ」  
出口 かずみ/作（理論社）

この一家は、み～んな「うろおぼえ」。だから  
よくしっぱいしちゃいます。今日のお休みこそ  
は、みんなでどこに行くかわすれないぞ～。そ  
うだ！お父さんがはまっている「メモ刑事」み  
たいにメモをかって、おでかけしよう！

さぁしゅっぱ～つ！…したのはいいけど、ど  
こにいくんだっけ？

とってもおもしろい、うろおぼえ一家のお話  
シリーズ三作目です！



「ゆきのけっしょう」  
武田 康男/監修・写真 小杉 みのり/構成・文  
（岩崎書店）

みんながよく知っている、ゆき。よく見て  
みると、形が見えます。ひとつひとつちがう、  
とてもうつくしい形をしています。

ゆきのけっしょう。空からふってきた、ふし  
ぎなこおり。どんな形があるのかな？この本  
を読んで見つけてね！



あか  
「赤いめんどり」  
アリソン・アトリー/作 青木 由紀子/訳  
山内 ふじ江/絵（福音館書店）

話しあいてがほしかったおばあさんのもと  
に、ある日小さな赤いめんどりがやってきます。  
さっそくおばあさんは、めんどりにごはんやね  
どこをじゅんびしてあげました。しかし、らん  
ぼうそうな男がたずねてきて、めんどりを食べ  
るからかえせと言います。おばあさんは、めん  
どりをまもるためたった一つのたからものをさ  
ししました。

アトリーのえがく、心あたたまる物語です。



「ぼくがちいさかったとき」  
サラ・オレアリー/ぶん ジュリー・モースタッ  
ド/え すぎもと えみ/やく（化学同人）

ぼくはヘンリー。まいばんねるまえにパパ  
とお話するよ。「ぼくがちいさかったときの  
お話をして」とたのむと、「おまえがちいさ  
かったときのねどこは、パパのスリッパだっ  
た」「おまえがちいさかったとき、ティーポッ  
トがおふろだった」  
ええ～！パパのお話、ほんとなの～？



「だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ」  
安房 直子/作 ひがし ちから/絵（偕成社）

はたらきもののだんまりうさぎは、あさから  
ばんまでなんにもしゃべりません。なぜって、  
お友だちがひとりもいなかったから。ところが  
ある日、すてきなくちぶえがきこえてきまし  
た。赤いスカートのおしゃべりうさぎが、おも  
ちを持ってやってきのたです。  
お友だちって、ステキだね！

発行：とぎつちようりつとぎつとしょかん